

要請番号 (JL30622B15)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ボリビア	G153 音楽	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・ 2023/3 ・ 2023/4 ・ 2024/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ルイス・フェリッペ・アルセ芸術家養成学院

3) 任地 (ラパス県ラパス市) JICA事務所の所在地 (ラパス県ラパス市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、1975年にボリビア国内での音楽家の育成を目的に創設された。現在は、児童から成人(9歳～30歳)を対象に、ピアノ、ヴァイオリン、クラシックギター、コーラス、オーケストラ等の指導を通して、ボリビア国内での音楽の普及、音楽家の育成にも寄与している。また、コロナ禍前までは、定期演奏会、音楽フェスティバルの開催等、生徒の習得した技術等を発表する機会等を実施していた。今後は、状況を鑑みつつ、再度音楽フェスティバルや定期演奏会を開催する予定である。現在、約90名(内訳:30名が児童、60名が青年～成人)の生徒が在籍している。過去にJICA海外協力隊員の派遣実績等はなし。(年間予算:約5500ドル、2022年度)

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先では、現在、音楽理論の授業の他、ピアノ、ヴァイオリン、クラシックギター、クラリネット、ビオラ等の個人レッスン、グループレッスン等を実践指導している。また、同学院のオーケストラも有しており、定期演奏会等に向けて日々練習に励んでいる。生徒数は約90名で、指導には各楽器の専門指導できる教員13名が担当している。授業料は無料で、保護者等の協力、支援を得て楽器等を購入している。今回、コロナ禍で活動再開し、定期演奏会や音楽フェスティバルの再開に向けて、オーケストラの指導のできる専門性を有した方からの指導、アドバイスを得たいとして本要請に至った。特にヴァイオリンに関する指導ができる方が求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚たちと共に以下の活動を行う予定。

(練習時間:14:30～18:30/週4～5日) 練習時間外に指導の準備等を行う。

1.生徒の演奏技能の現状を把握し、レベルに応じたヴァイオリンの実技指導のアドバイスを行う。

2.オーケストラの指導に対する支援等を行う。

3.定期演奏会等に向けた指導の支援を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ヴァイオリン 80丁(生徒への貸し出し)各楽器の教室、オーケストラ練習用スペース

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

ヴァイオリン指導者:男性、経験年数(18年)指導経験年数(3年)

ギター指導者:男性2名、経験年数(8年～13年)指導経験(3～4年)

活動対象者:30名が児童、60名が青年、成人
オーケストラ対象者:30名程度

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
スペイン語	スペイン語	英語(レベル:C)又はスペイン語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ） [学歴]：（ ） 備考：
[性別]：（ ） 備考： [経験]：（指導経験）2年以上 備考：生徒への指導が求められている

[参考情報]：
・ヴァイオリンの演奏経験及び同指導経験を有した方が望ましい
・オーケストラの経験(演奏・指導等)を有した方が望ましい

任地での乗物利用の必要性
不要

【地域概況】

[気候]：（高地地中海性気候） 気温：（0～25℃位） [電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可） [水道]：（安定）

【特記事項】